

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 15 日

事務事業名		中小企業事業資金関係事務				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040202000529
						単独/補助	単独	所属課	050301
政策体系	総合計画の施策名	0402 商工業の振興						課長名	商工観光課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	商工観光グループ
	施策名	02 商工業の振興						担当者名	
	手段名	02 ②商工業の経営基盤強化							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	07	01	02	01	00	単年度繰返し (平成17年度~)		
							商工振興事業		
法令根拠	桜川市中小企業事業資金融資あっせん条例								
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)								

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【中小企業事業資金融資あっせん事業】</p> <p>桜川市内の中小企業者に対し、商工会が事業資金の融資と保証のあっせんを行う。</p> <p>融資までの流れ：①申請者は桜川市商工会で申請手続きを行う。②月に1回金融審査会で審査を受ける。③資金融資が決定されると茨城県信用保証協会にて保証承諾し信用保証書を発行する。④金融機関から融資を受ける。</p> <p>【中小企業事業資金保証料及び利子補給助成事業】</p> <p>自治金融・振興金融・小規模事業者等経営改善資金を利用した商工業者に対し、融資に係る保証料及び利子の補給を行う。</p> <p>令和2年4月から茨城県信用保証協会と信用保証料補給事務委託契約を締結した。</p>	<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>①茨城県信用保証協会と信用保証料補給事務委託契約の締結し補給金の交付する</p> <p>②商工会と事務委託契約を締結し委託料を支払う</p> <p>③経済部長及び商工観光課長が金融審査会委員として毎月の審査会に出席する</p> <p>④商工会1月~12月の申請者 (利子補給対象者) の報告を受け、対象者に利子を補給する。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
①商工会と事務委託契約の締結 委託料の支払 ②経済部長及び商工観光課長が金融審査会委員として、毎月の審査会に出席 ③1月~12月の申請者 (利子補給対象者) の報告への支払い	審査会開催回数	回	12.00	11.00	12.00	12.00	12.00
	申請件数	件	14.00	16.00	18.00	20.00	20.00
	申請金額	千円	5,630.00	6,625.00	2,781.00	2,781.00	2,781.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市内中小企業事業者	市内事業所数 (従業員4人以上の事業者)	社	682.00	449.00	450.00	450.00	450.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
中小企業の金融を円滑にする	助成件数	件	14.00	16.00	18.00	20.00	20.00
	助成金額	千円	281.00	331.00	350.00	380.00	380.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	11,301	11,182	16,500	
		事業費計 (A)	千円	11,301	11,182	16,500	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
	12 委託料	2,873		12 委託料	8,500	
	18 負担金補助及び交付金	309		18 負担金補助及び交付金	1,000	
	20 貸付金	8,000		20 貸付金	7,000	
	合計		11,182	合計		16,500

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	信用保証協会との信用保証料補給事務委託契約及び支払 商工会とのあっせん事務契約及び支払 小規模事業者への利子の補給 (マル経)	信用保証協会との信用保証料補給事務委託契約及び支払 商工会とのあっせん事務契約及び支払 小規模事業者への利子の補給 (マル経)	信用保証協会との信用保証料補給事務委託契約及び支払 商工会とのあっせん事務契約及び支払 小規模事業者への利子の補給 (マル経)

事務事業名	中小企業事業資金関係事務	事務事業No.	40202000529	所属課	商工観光課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
中小企業の発展に寄与することを目的に、茨城県内の市町村の商工政策の一環として昭和28年茨城県信用保証協会が設立され、事業者が金融機関から事業資金を借入れするときの公的な保証人となっている。 近年は新型コロナウイルス感染症の流行でより融資の受けやすいセーフティネット利用者が多いため自治金融の利用は低くなっている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 商工業者の経営基盤の強化、並びに持続可能な商工業の振興を支援するため、結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 本事業の目的である「地域商工業者の経営基盤の強化」は桜川市の基本計画に規定されており、市が行う事業として妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 茨城県信用保証協会と契約し補給金の交付を行っており、商工会法に基づき知見を持った商工会が経営に関する相談や指導を行うなど、地域内商工業者に対して幅広い支援をしていることから、向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 低利で融資を受けることができず、経営悪化や商工業の衰退につながるおそれがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため統廃合・連携の余地がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 商工会であっせんを行い、茨城県信用保証協会で保証の承諾を行っているため削減の余地がない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益機会は公正・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	近年の状況を見ると、自治金融・振興金融・小規模事業者経営改善資金の利用は減少しており、コロナ禍による国及び県等の緊急保証制度を利用する中小企業者が増加している。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる 現状維持		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下				
成果	向上維持低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認